

このたび、2018年9月8日に、秋季大会と総会が明治大学駿河台キャンパスにおいて
予定どおりに行われました。会員のみなさまのご協力に感謝いたします。

☆ 総会での議決事項について

- 1) 昨年度決算および今年度予算について、下記（別紙資料1）のように、昨年度の決算と今年度の予算が総会で承認されました。
- 2) 今年度の事業予定について、下記（別紙資料2）のように、今年度の事業予定が総会で承認されました。なおすでにおこなわれた事業に関しましては、日仏哲学会 HPの方をごらんください。
- 3) 第五回日仏哲学会若手研究者奨励賞受賞者として、小倉拓也氏（論文「ドゥルーズにおける「可能的なもの」の概念再考——最初期論文群から晩年までを貫くものとして」）が選出され、表彰されました。
- 4) 書評対象作の選定基準が定められました。詳しくは下記をご覧ください。

☆ 機関誌への投稿について

機関誌『フランス思想・哲学研究』次号に公募論文を応募されるかたは本年12月31日までに下記編集委員長の e-mail アドレスに PDF ファイルで完成原稿をお送りください。
(以下参考。※ 投稿規定は HP からご覧いただけます)。

『フランス哲学・思想研究』公募論文投稿規定

1. テーマ: フランス哲学・思想に関するもの、日仏両哲学界の交流に寄与するもの。
2. 応募資格: 日仏哲学会会員（ただし機関誌最新号に公募論文が掲載された者は次号には応募できない）。

3. 応募原稿の形式：ワープロソフトによる完全原稿の PDF。和文・仏文を問わず、1行全角 43 字（半角 86 字）の設定で横書き、タイトル、著者名、注も含めて 370 行以内。注はワープロソフトの脚注機能は使用せず、本文の該当箇所に通し番号 1)、2)、……をつけ、本文の後に置くこと。和文・仏文いずれの場合も仏語レジュメ（上記設定でタイトルと著者名も含め 12 行以内）を本文とは別のページに付すこと。氏名、住所、電話番号、E-mail アドレス、生年月日（若手研究者奨励賞対象者確認のため）を記した応募者情報を、別紙の PDF として添付すること。
4. 原稿作成上の注意：欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。また仏語レジュメは、ネイティブ・チェックを受けるなど、著者が責任をもって点検を済ませておくこと。
5. 原稿応募期間：2018 年 12 月 1 日～31 日、件名を「フランス哲学思想研究公募論文」としたメールに原稿等のファイル(本文・仏語レジュメ・応募者情報)の PDF を添付し、編集委員長宛に送付すること。
6. 原稿送付先：編集委員会委員長宛。
(編集委員長)：加國尚志 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学文学部
メールアドレス：kakuni@lt.ritsumei.ac.jp
7. 審査：掲載の可否は編集委員会で決定し通知する。掲載決定の場合、応募者は指示された期日までに、原稿（論文及び欧文レジュメ）の電子ファイル（PDF ではなく、Microsoft Word バージョン 2000 以上で作成したもの、それ以外の場合は要相談）を添付ファイルとしてメールで編集委員長宛に送付すること。

☆ 書評対象作の選定基準

日仏哲学会編集委員会では『フランス哲学・思想研究』掲載の書評対象作選定の基準を以下のとおりとします。（理事会承認済み）

書評対象作選定の基準

- ・ 書評対象として会員が前年度出版した著作を可能なかぎり取り上げる。
- ・ 書評対象作は編集委員会で決定する。
- ・ 書評対象として、前年度 1 年間に発行された著作を取り上げるが、それ以前の著作でも漏れていたものを取り上げることは可とする。

- ・会員によるものであっても翻訳書は原則対象外とする。
 - ・書評対象作のリストアップのため、会員よりの自薦・他薦を受け付ける。（自薦の場合は、著書を編集委員長宛に送付することが望ましい。）
- 以上。

☆ 春季大会への一般発表の申し込みについて

2019年春季大会は3月23日(土)に大阪大学(吹田キャンパス)で開催されます。一般研究発表を公募いたします。発表時間は25分(15分の質疑応答付き)です。

発表希望者は2018年12月31日までに、日本語の場合は1200字以内、フランス語の場合は300mots以内(いずれもタイトル、発表者名、改行に伴う空白を含む)の発表要旨(Microsoft Wordバージョン2000以上で作成したもの)を事務局までメールで送付してください。

なおその際には、「応募メールを送った」旨を伝える簡単なく確認メールも別途同時に事務局までお送りください。採否は1月末日までに決定いたします。

★ 会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、学会予算の過半をその発行費が占めていることの結果として、財政的にはこの充実は学会に重荷になりつつあります。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000円)を納入していただきたく、お願い申し上げます。大会欠席の方には、機関誌発送時に同封でお送りします振替用紙をご利用ください。また、以下にあります学会振替口座には常時、お振込みいただくことができます。会費納入へのご理解を改めてよろしくお願い致します。(なお3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただいています。)

【日仏哲学会事務局】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2 大阪大学人間科学研究科 檜垣研究室内

e-mail: sfjp-jim@hus.osaka-u.ac.jp

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会

【資料 1】 2017 年度決算、2018 年度予算について

2017 年度 (2017 年 9 月 1 日～2018 年 8 月 31 日)

*2017 年度の実収入、実支出の計算は 2017 年 8 月 27 日-2018 年 8 月 28 日。

2017 年度予算

収入	
会員会費	1, 400, 000
雑収入	50, 000
(単年度収入	1, 450, 000)
前年度繰越金	1, 890, 655
計)	3, 340, 655 円

支出	
大会費	150, 000
事務局費	300, 000
通信費・送料	150, 000
機関誌刊行費	800, 000
若手研究者奨励賞	30, 000
雑支出	5, 000
(単年度支出	1, 435, 000)
次年度繰越金	1, 890, 655
純利益	15, 000
計)	3, 340, 655 円

2017 年度決算

収入	
会員会費	1, 222, 000
雑収入 (注 1)	52, 888
(単年度収入	1, 274, 888)
前年度繰越金	1, 890, 655
計)	3, 165, 543 円

(注 1) 雑収入内訳

機関誌売上	16, 500 円
著作権料	32, 410 円
余剰金	3, 978 円

支出	
大会費	225, 592
事務局費	349, 974
通信費・送料	126, 810
機関紙刊行費	791, 212
若手研究者奨励賞	30, 000
雑支出	11, 000
(単年度支出	1, 534, 588)
次年度繰越金	1, 630, 955
計)	3, 165, 543 円

繰越金内訳

振替貯金	1, 524, 214 円
現金	106, 741 円

(次頁に続く)

2) 2018年度(2018年9月1日～2019年8月31日) 予算

2018年度予算

収入

会員会費	1, 500, 000
雑収入	50, 000
(単年度収入	1, 550, 000)
前年度繰越金	1, 630, 955
計)	3, 180, 955円

支出

大会費	200, 000
事務局費	300, 000
通信費・送料	160, 000
機関誌刊行費	860, 000
若手研究者奨励賞	30, 000
(単年度支出	1, 550, 000)
次年度繰越金	1, 630, 955
計)	3, 180, 955円

【資料2】2018年度事業計画

① 2018年9月8日 秋季研究大会(明治大学 駿河台キャンパス)

- ・一般研究発表: 9名
- ・総会
- ・講演会: Mai 68 et les philosophes (68年5月と哲学者たち)
講演者: François Cusset フランソワ・キュセ教授(ナンテール大学)
- ・シンポジウム: 「68年と現代フランス思想」
(司会) 上野修、(発表) 市田良彦、澤田直、上尾真道

・2018年9月7日 提案型ワークショップ

「見果てぬ哲学—林達夫、中村雄二郎、市川浩、そして……」

第一部: 「哲学のドラマトウルギー」

発表者: 塩川徹也、加國尚志、合田正人

挨拶: 土屋恵一郎

第二部: 座談会「来たるべき哲学」

司会: 合田正人

登壇者: 近藤和敬、菅野康太、郡司ペギオ幸夫

② 2019年3月23日 春季研究大会(大阪大学 吹田キャンパス)

- ・一般研究発表
- ・シンポジウム: 「現場から考える哲学 石巻、知的障害、子どもの貧困とフランス思想」
(司会) 村上靖彦、(発表) 奥堀 亜紀子、河合翔、佐藤桃子

③ 2018年9月 機関誌23号発行